

多職種チームの取り組み 周術期管理

岡山大学病院
周術期管理センター 看護師長
足羽 孝子



手術を受ける多くの患者は、

- 高齢者
 - 身体機能の低下
 - 多数の併存疾患
- 悪性新生物（がん）
- サポート体制の不足（独居）
- 期待の膨張・ニーズの多様化



本日のお話

- これまでの周術期管理
 - 当院の現状と周術期管理センターの設立の背景
- 各部門の介入の実際
- 見えてきた成果
 - 標準化の促進
 - 看護外来の成果
- 今後の課題



これまでの周術期管理では、

手術件数の増加
入院期間の短縮（特に術前）
慢性的な医療スタッフ不足



患者の高齢化
慢性疾患の合併
核家族化
高侵襲手術の増加



術前準備は基本的に
外科医による外来



周術期に関わる情報共有ができていない
低栄養、低肺機能、飲酒・喫煙など

患者さん自身が、心身の準備ができていない



手術キャンセル（抗凝固薬の休薬、身体評価の不足など）
術後合併症（肺炎、せん妄、縫合不全、離床遅延など）

➡ 問題が起こってから各専門部門に紹介

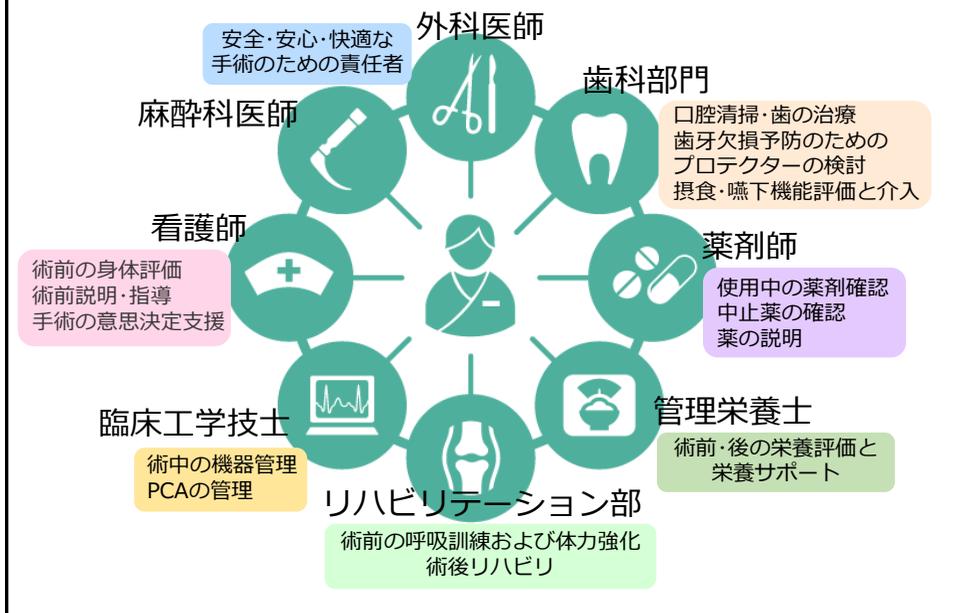
PERIOの開設

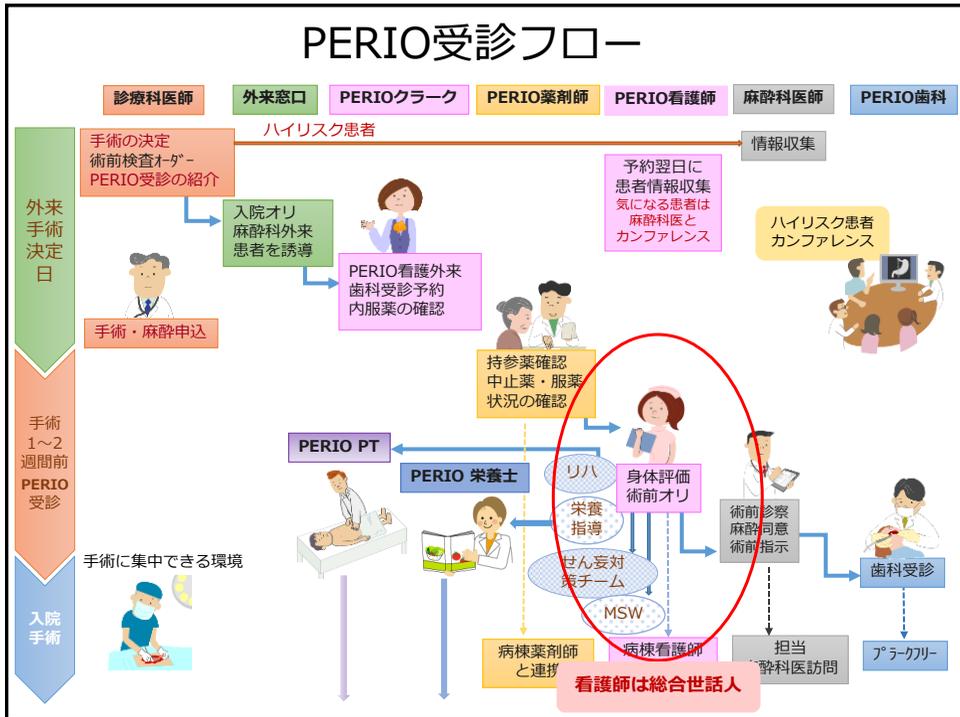
岡山大学病院 周術期管理センター Perioperative Management Center

手術を受ける患者さんに快適で安全、安心な術前・術中・術後の環境を効率的に提供することを目的に2008年9月に開設

手術が決まった**外来**の時点から、**チーム医療**で手術を受ける患者をサポート！

PERIOのメンバー





① 薬剤師面談

- 持参薬のチェック
 - ・ 後発品の増加→当院採用薬剤の提示
- 服薬指導
- 術前中止薬の指導、徹底
- アレルギー歴の確認
- せん妄誘発薬剤の確認
 - ・ せん妄チームとの連携
- 術後疼痛ラウンド



② 看護師面談

看護面談は必ず
看護師2名で実施
一人は説明
一人は記録



- 手術・麻酔のための身体評価
 - 問診と身体診察
 - 摂食・嚥下スクリーニング（質問紙）
 - せん妄リスク評価
- 術前準備の動機づけ
 - 術式および術後経過の説明
 - 術後痛の説明・PCAの説明
 - 麻酔・ICU利用説明
 - 禁煙・禁酒指導
- 不安緩和・退院支援
- 手術の意思決定支援



③ 麻酔科医師診察



麻酔科医

- 麻酔のための身体評価、リスク評価
- 麻酔プランの立案
- 麻酔方法、合併症等リスクの説明
- 麻酔の同意取得
- 術前休薬等の指示

④ 歯科診察

【対象】 全身麻酔症例全例

<術前>

- 気管挿管時の歯牙破折予防（プロテクター）
- 術後の上気道感染予防（プラークフリー）
- 術後に経口栄養摂取ができる口腔環境作り
- 術後の誤嚥防止（摂食嚥下リハビリ）
- むし歯の治療、歯周病の治療



<術後>

- 摂食嚥下機能リスク症例への嚥下機能評価
- 術後歯科ラウンド（ICU・病棟）
- 歯科治療の継続

⑤ リハビリ診察

【対象】 開胸手術全例・呼吸機能障害症例

<術前>

- 運動機能評価
- 運動指導
 - 身体能力向上への動機づけ
 - 腹式呼吸、Huffing、咳払い、咳嗽の方法
 - 疼痛回避動作の方法など



<術後> 手術翌日からベッドサイドリハビリ開始

- 術後理学療法の治療手技選択の評価
- 理学療法実施
 - 肺理学療法
 - 運動療法（ROM訓練、筋力強化訓練、全身調整運動）
 - 基本動作介助

⑥ 栄養指導



【対象】 消化管外科症例・栄養過多・不良症例

<術前>

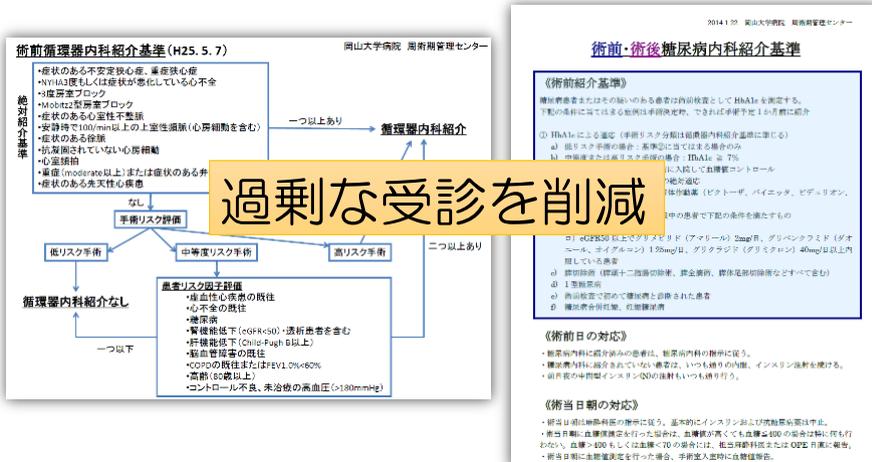
- ・ 栄養状態の評価
- ・ 現体重、平常時体重、標準体重の比較
- ・ 必要に応じた食事指導および補食の説明

<術後>

- ・ 手術後の経腸栄養、経口摂取状況の確認
- ・ 栄養状態の評価と食事変更：補食や食形態の提案
- ・ 退院後の食事指導および相談

基準の作成

1. 術前循環器内科・糖尿病内科の紹介基準作成

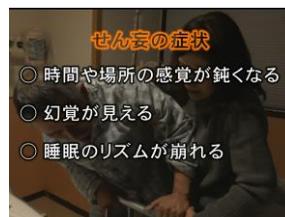


術前管理の標準化促進

- 2013年 5月 ～循環器内科術前受診基準の作成
- 2013年 12月～術前中止薬の院内基準を見直し、再周知
- 2014年 1月 ～術前の絶飲食時間の標準化
- 2014年 2月 ～糖尿病内科術前受診基準の作成
- 2014年 10月～手術前日に行っていた
術前麻酔科医診察を手術1～2週間前へ
- 2015年 4月 ～タッチパネル問診票の導入
- 2016年 4月 ～動画によるオリエンテーションの導入



📺 麻酔について知っておきましょう



📺 「せん妄」をご存じですか？

今後の課題

- 当院での周術期管理のさらなる効率化
 - 高侵襲・高リスク患者への介入システムの構築
- 日本版ERAS
 - データベース管理
 - エビデンスの発信
- 岡山県内の病院でのPERIO推進
- 県民（国民）と医療者がともに周術期管理を学ぶ